

(件名)

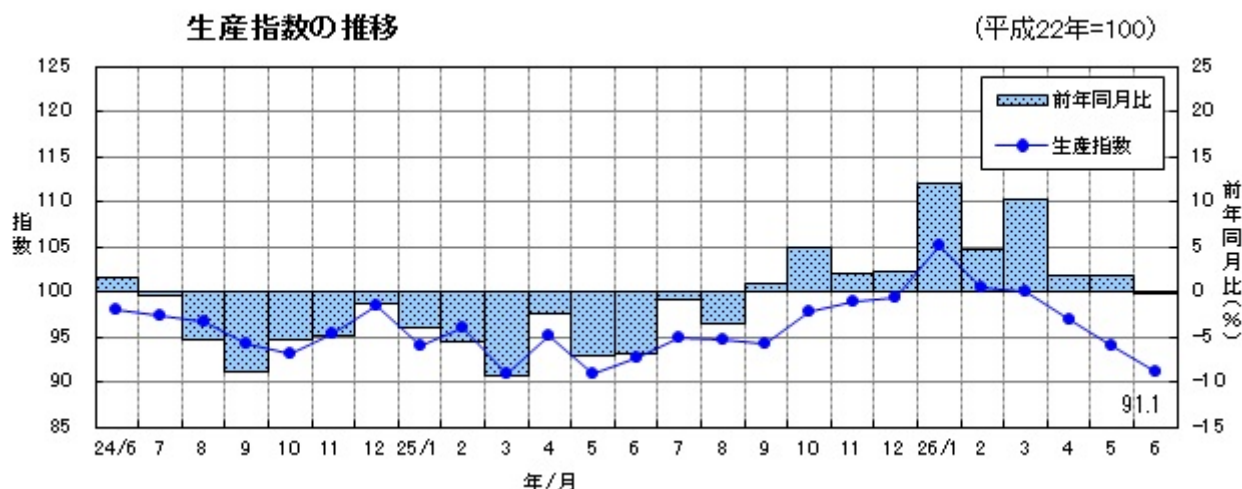
生産は弱含みで推移 10か月ぶりに前年同月比を下回る (静岡県鉱工業指数 平成26年6月分速報)

1 生産指数の動き

6月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成22年=100)は**91.1**となり、**前月比は3.1%減と5か月連続して低下した**。

また、**前年同月比(原指数)は0.3%減と10か月ぶりに前年を下回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、情報通信機械、家具等が上昇する一方、化学、輸送機械、窯業・土石製品等が低下した。

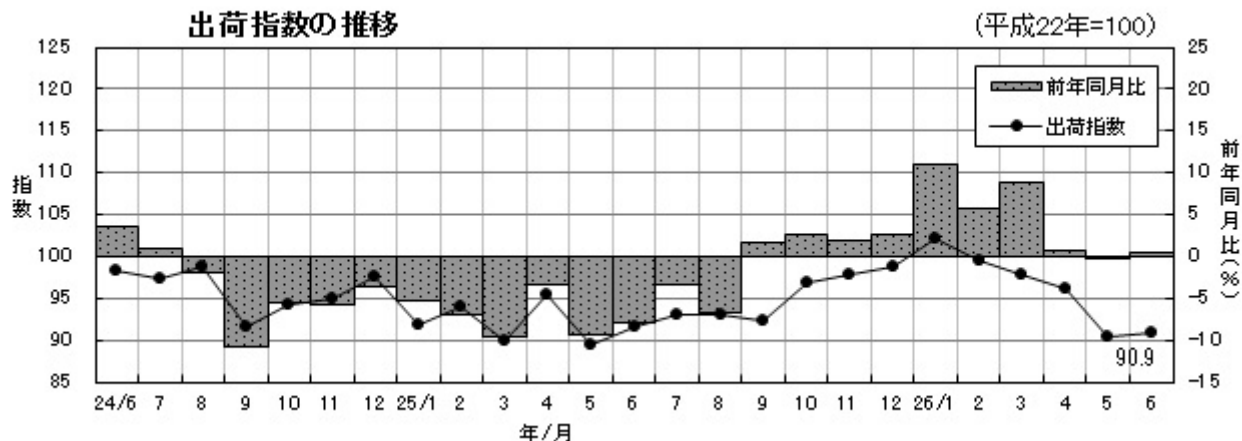


2 出荷指数の動き

6月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成22年=100)は**90.9**となり、**前月比は0.7%増と5か月ぶりに上昇した**。

また、**前年同月比(原指数)は0.4%増と2か月ぶりに前年を上回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、はん用・生産用・業務用機械、電気機械等が上昇する一方、化学、輸送機械、その他製品等が低下した。

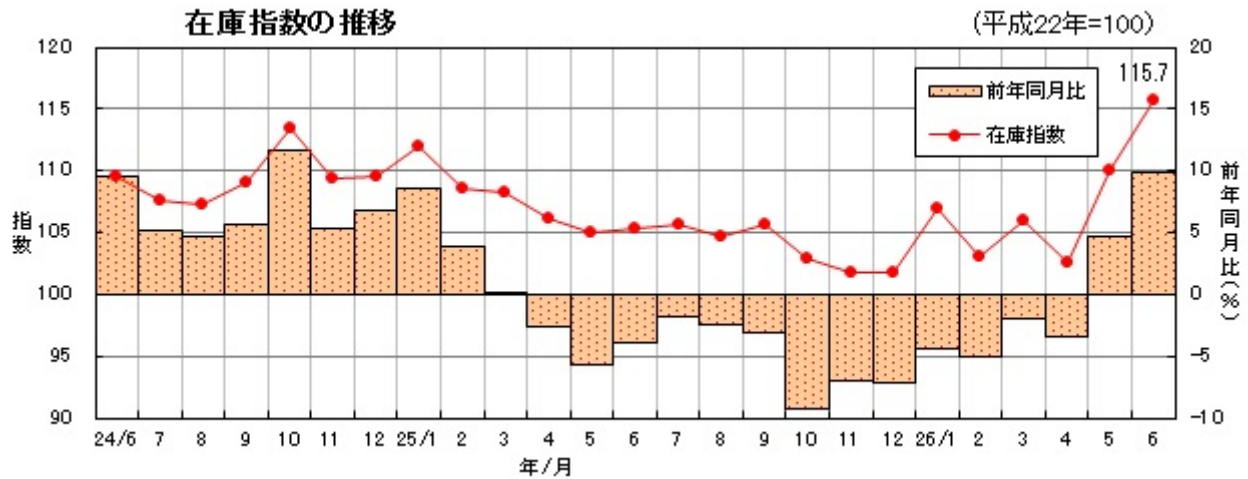


3 在庫指数の動き

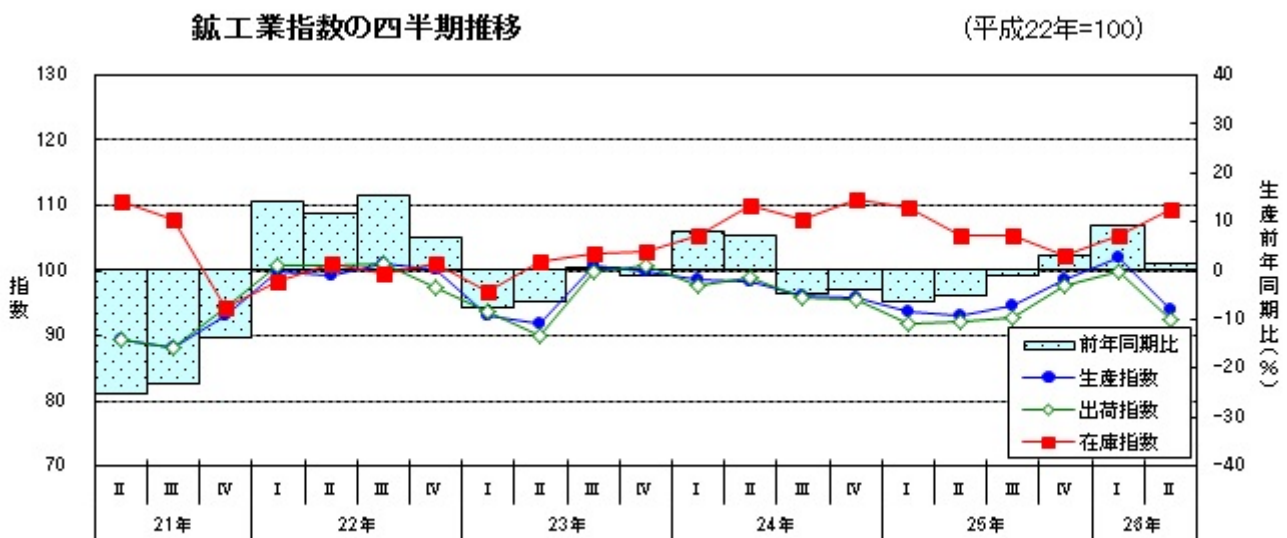
6月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は115.7となり、前月比は5.2%増と2か月連続して上昇した。

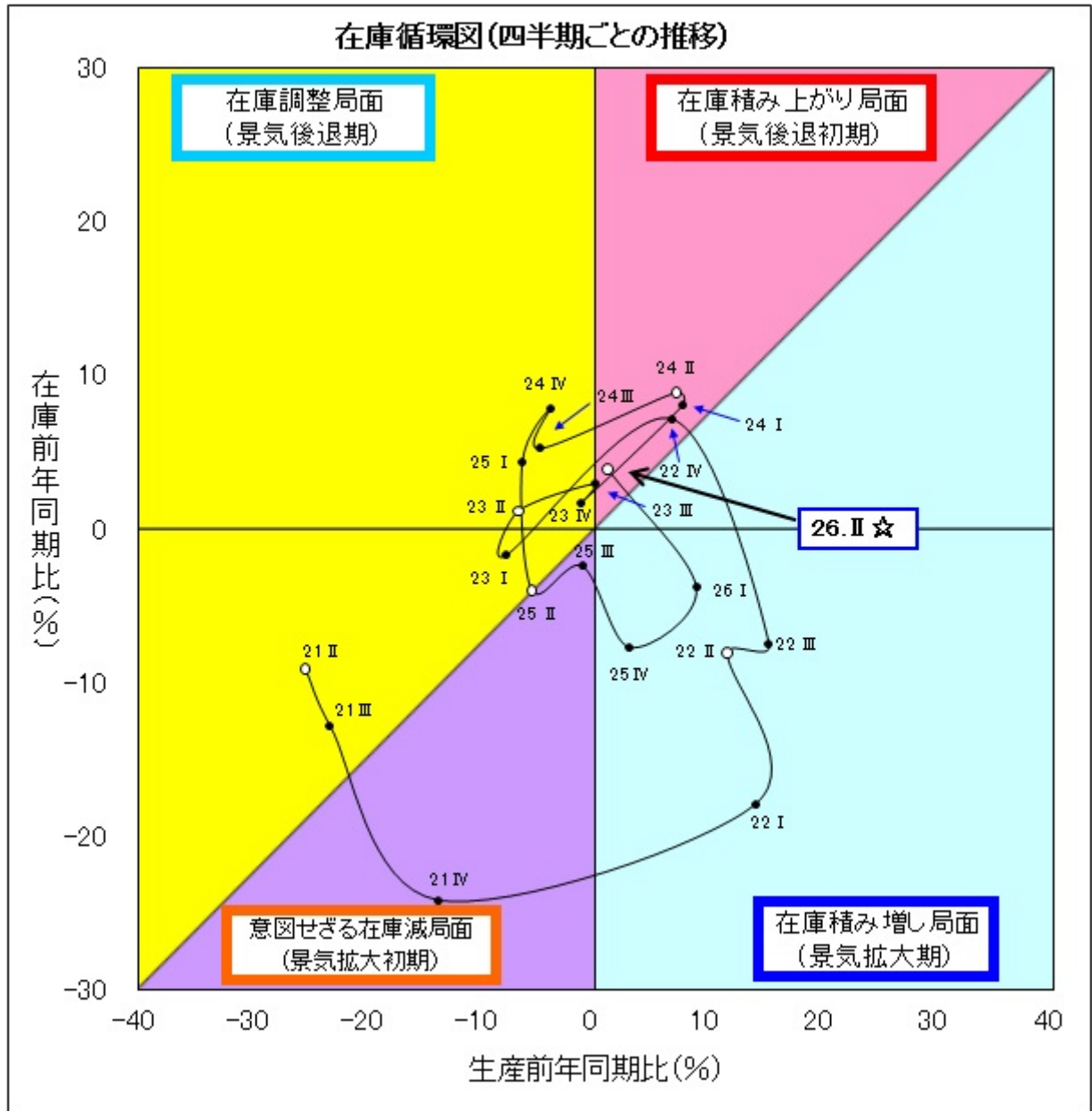
また、前年同月比（原指数）は9.9%増と2か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、その他製品、化学、輸送機械等が上昇する一方、金属製品、窯業・土石製品、はん用・生産用・業務用機械等が低下した。



<参考1> 四半期推移及び在庫循環図





☆ 在庫積み増し局面 (景気拡大期)

需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。

・ 在庫積み上がり局面 (景気後退初期) ← 今季はここに該当

供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。

・ 在庫調整局面 (景気後退期)

適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。

・ 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)

需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。